

『ウッドデザイン賞2022』 4つの大臣賞をはじめとした上位賞が決定！

～12月7日（水）に東京ビッグサイトで「表彰式」「記念シンポジウム」等を開催！～

「ウッドデザイン賞2022」では、これまでの最優秀賞「農林水産大臣賞」に加え、新たに「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」を創設しました。この度、これら4つの大臣賞である最優秀賞と優秀賞、奨励賞を合わせた28点の上位賞が選ばれました。

12月7日（水）には環境展示会「エコプロ2022」（於：東京ビッグサイト）にて表彰式、記念シンポジウム・パネル展示・交流会、12月7～9日（水～金）には受賞作品展示を行います。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2022

2022-11
PRESS RELEASE

11月9日（水）

一般社団法人日本ウッドデザイン協会

- 「ウッドデザイン賞」は、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。
- 2015年に創設され、今回で8回目を迎えます。本年度より一般社団法人日本ウッドデザイン協会が主催となり、SDGsなどの時代にニーズに合わせた審査ポイントに刷新し、応募分野の拡充等を実施しました。さらに、これまでの最優秀賞「農林水産大臣賞」に加え、新たに最優秀賞として「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」を創設いたしました。
- ウッドデザイン賞2022の応募総数は330点、10月6日には「ウッドデザイン賞2022」の受賞作品188点を発表しました。今回、最終審査を経て、「木の活用による社会課題の複合的な解決をもたらし、イノベーション・新産業創出に寄与する作品」として「最優秀賞」が4点、「優秀賞」が9点、「奨励賞」が15点と、上位賞28点が選出されました。
- 「最優秀賞」には、「農林水産大臣賞」に『MOKUWELL HOUSE』（MEC Industry株式会社）、「経済産業大臣賞」に『ワーカーのウェルビーイングな働き方をサポートするビッグテーブル「シルタ」』（株式会社イトーキ）、「国土交通大臣賞」に『HULIC & New GINZA 8』（株式会社竹中工務店ほか）、「環境大臣賞」に『SANU 2nd Home』（株式会社Sanuほか）が決定いたしました。受賞作品の一覧は「別添資料1」をご参照ください。
- 今後は、12月7～9日（水～金）に東京ビッグサイトで開催される『エコプロ2022』の「森と木のSDGsゾーン」内で受賞作品展示を実施するとともに、12月7日（水）午前にはエコプロ2022の特設ステージで上位賞の表彰式を、午後には会議棟で最優秀賞受賞者や審査委員による記念シンポジウム・パネル展示・交流会を開催します。詳しくは次ページと「別添資料2」をご覧ください。



①農林水産大臣賞「MOKUWELL HOUSE」（MEC Industry株式会社）、②経済産業大臣賞「ワーカーのウェルビーイングな働き方をサポートするビッグテーブル『シルタ』」（株式会社イトーキ）、③国土交通大臣賞「HULIC & New GINZA 8」（株式会社竹中工務店ほか）、④環境大臣賞「SANU 2nd Home」（株式会社Sanuほか）。

総評 赤池 学（ウッドデザイン賞2022審査委員長）

新生ウッドデザイン賞の最初の上位賞が出揃った。複数の社会課題を横断的に解決する優れた取組が数多く見られ、今後への期待がますます高まった。例えば建築・空間分野においては、域内外のバリューチェーンと協業した革新的なビジネスモデルがその背景にある作品が高い評価となった。一方で都市での木材利用の事例では、洗練された意匠や機能的な空間提案はもちろんのこと、来訪者やワーカーなど多様なステークホルダーにメリットを与え、新しいウェルネス、ウェルビーイングをもたらす暮らし方や働き方そのものを提案した例も見られた。木材利用は確実に新境地を拓きつつある。次回以降も、新たな発想とチームビルディングに基づく意欲的な作品の登場を期待している。

主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会



JWDA
もっと、木と

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体（一般社団法人）です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。

名称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
英文名 Japan Wood Design Association（略称：JWDA）
設立 2021年11月18日
所在地 東京都港区新橋3-5-2 新橋OWKビル6階
会長 隈 研吾
会員 133（企業、団体、自治体等、2022年10月時点）

<https://www.jwda.or.jp/>

《「ウッドデザイン賞2022」実施概要》

■ 応募受付期間：2022年6月20日（月）～7月31日（日）

■ 応募対象分野：建築・空間分野、技術・建材分野、木製品分野、コミュニケーション分野、調査・研究分野

■ 表彰部門：



■ 賞の構成：



■ 実施結果： 応募数330点 / 入賞数188点（建築・空間分野 114点、技術・建材分野23点、木製品分野31点、コミュニケーション分野 16点、調査・研究分野4点）

【参考】「ウッドデザイン賞2022」エコプロ2022関連行事のお知らせ

1. 受賞作品展示

【期間】2022年12月7日（水）～9日（金） 10:00～17:00
【会場】東京ビッグサイト 東5ホール（「エコプロ2022」森と木のSDGsゾーン内 小間番号：「5-912」F-01）
【内容】①上位賞展示 ②受賞作品展示（受賞作品の一部） ③日本ウッドデザイン協会ブース
④アンケート（回答いただいた方に素敵なプレゼント）

2. 「ウッドデザイン賞2022」表彰式

【日時】2022年12月7日（水） 10:00～11:00
【会場】東京ビッグサイト 東6ホール（「エコプロ2022」特設ステージ 小間番号：「6-904」）
【内容】最優秀賞ほか上位賞の表彰、審査委員長コメント等

3. 「ウッドデザイン賞2022」記念シンポジウム・パネル展示・交流会

【日時】2022年12月7日（水） 14:00～17:00
【テーマ】セッション1「都市を森林（もり）に～企業価値を高めるウッドデザイン」
セッション2「ウッドデザインが拓く、地域発の新たなバリューチェーン」
【場所】東京ビッグサイト 会議棟6階「605-608」
【内容】上位賞受賞者プレゼンテーション、審査員によるトークセッション、パネル展示、交流会等を実施。

「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイト ★最新情報を随時公開しています★

<https://www.wooddesign.jp/>



ACCESS

● 受賞作品に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」応募受付担当 E-mail：info2022@wooddesign.jp

※ 電話でのお問い合わせは受け付けておりません

● 取材に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：小田、木俣）

E-mail：press2022@wooddesign.jp

※ 受賞作品に関する取材をご希望される方は、上記へご連絡をお願いいたします。

最優秀賞（農林水産大臣賞）

1点



MOKUWELL HOUSE

MEC Industry株式会社（鹿児島県）

建築・空間分野 ライフスタイルデザイン部門

原木調達を地域の森林から自社の素材センターへ送り、原木加工でも高い歩留りを実現する、地域密着型のサプライチェーン構築のビジネスモデルから生まれた木造のプレファブリック住宅である。工場生産による部材を現場で組み立て高品質と低価格を両立させながら、地域材の高付加価値化、木の魅力を存分に味わえる空間の提供、といった複合的な課題解決の取組として高く評価した。

最優秀賞（経済産業大臣賞）

1点



ワーカーのウェルビーイングな働き方をサポートする ビッグテーブル「シルタ」 株式会社イトーキ（東京都）

木製品分野 ライフスタイルデザイン部門

大型のオフィス空間向けのテーブルで、ペーパーハニカムパネルとアルミ押出材を天板内に収納して軽量化と強度を確保し、本物の無垢の木の質感を味わえるデザインクオリティの高い作品である。木のぬくもりがワーカーのストレスを軽減したり、集中力を上げる効果も実証実験で裏付けられており、それらのコミュニケーションにも気配りがある。木製家具のオフィス導入が、昨今注目される健康経営推進にもつながることを示しており、オフィスの木質化促進に貢献することが期待される。

最優秀賞（国土交通大臣賞） 1点



HULIC & New GINZA 8

株式会社竹中工務店（東京都） ヒューリック株式会社（東京都） 隈研吾建築都市設計事務所（東京都） 西白河地方森林組合（福島県） 協和木材株式会社（東京都）

建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門

シンボリックな木造建築が多くの人の目に触れる都市部に建ち、その価値や魅力を発信するにふさわしい。各種の木造技術は今後の木造建築の拡大に寄与することが期待され、都市における木材利用による炭素固定を促すモデルの先進例として高く評価した。この地域ならではの社会性や環境志向のある感度の高い客層をターゲットに、木の持つ優しさを活かした快適で心地よい空間を提供しており、断熱性や吸湿性といった木の持つ性能、温もりや柔らかさなど五感に訴える木の魅力を十分に伝え、木を使うメリットを最大限に引き出した。

最優秀賞（環境大臣賞） 1点



SANU 2nd Home

株式会社Sanu（東京都） 株式会社ADX（福島県） 有限会社二葉測量設計事務所（静岡県） 釜石地方森林組合（岩手県）

建築・空間分野 ライフスタイルデザイン部門

木と調和した保養滞在の魅力を訴求し、国産材使用に加えて、ペレットストーブ等の自然エネルギーの使用、極力、釘やビスを使わない解体しやすい建築面の工夫もある。収益の一部で植林を行なうなど、自然への負荷を最小化したサーキュラー型建築を実現している。環境負荷低減に留まらない、本建築物が増えるほど森が豊かになる環境再生型事業の良質なモデルである。サブスク型で多様な農山村地域や自然公園等への訪問を促進する点も高く評価した。

優秀賞（林野庁長官賞）

● ライフスタイルデザイン部門 3点



シェルターインクルーシブプレイスペース
コパル（山形市南部児童遊戯施設）
山形市（山形県）大西麻貴＋百田有希／o+h
（東京都）株式会社シェルター（山形県）株
式会社高木（山形県）合同会社ヴォーチェ
（山形県）特定非営利活動法人 生涯スポーツ
振興会（アプルス）（山形県）
建築・空間分野

雄大な木造ドームや木質感の溢れる回遊型の大空間で、子どもの年齢、性別問わず思いのままに遊べ、多様でチャレンジな遊びを誘発する。雨天の際や冬季の外遊びの制限といった課題を解決するための屋内型施設は地域にとって貴重であり、その外観も周辺風景に溶け込む美しさを併せ持っている。



木製浮き基礎工法
越井木材工業株式会社（大阪府）
技術・建材分野

基礎部分は、建築物が完成した後では意識されることは少ないが、こうした分野にも木材を積極的に活用し、解体・廃棄・再利用までを含めたライフサイクルコストにおける優位性と環境配慮を施主や事業者が意識を向ける契機となる点は高く評価できる。防腐処理を施した解体部材は再利用も容易で、杭や擁壁などの土木分野での再利用も可能である点も有用性が高い。



Do kit yourself 家具キット
株式会社維鶴木工（奈良県）
木製品分野

本格的な技術と良質な木材によるDIYの椅子制作キットであるが、時間をかけて自らの手でつくことで家具の構造や機能、木材の特性など自然向き合うことになり理解度を高めることとつながっている点が秀逸である。自分の手をかけ直しながら愛着を持って使い続けられるという木ならではの特徴を伝えるにふさわしい、社会提案性のある作品と言える。

優秀賞（林野庁長官賞）

● ハートフルデザイン部門 3点



Port Plus 大林組横浜研修所
株式会社大林組（東京都）
建築・空間分野

木造の構造躯体を外からでも見える構造とすることで、都市や来訪者に向けて木造建築物のインパクトを訴求して木の時代の到来を発信する役割を担うとともに、利用者のウェルビーイングをもたらす空間提案や効果分析などを行なった先端的な取組である。空間の用途ごとに五感や感性を刺激する樹種やデザインの工夫が施されているため、今後の展開にも期待が持てる。



禅坊 靖寧
株式会社坂茂建築設計（東京都）株式
会社パソナグループ（東京都）前田建
設工業株式会社（東京都）ナイス株式
会社（神奈川県）
建築・空間分野

自然の中に身をゆだね、天空で木に囲まれながら心身の健康やウェルビーイングを実感できる感性に訴える非常に美しく、豊かな空間である。古来から座禅の空間は木が使われ親しまれてきたが、新たな解釈と技術、デザインでその価値を見事に再発見させる建築である。豊富なプログラムや宿泊機能など、多様な参加者ニーズに応えている。



木製自転車スポーツタイプ TR-S型
E-Thruタイプ
カネモク工業株式会社（東京都）
木製品分野

自転車のフレームに木材を使うことで、これまでの金属やカーボン素材にはない柔らかな質感や木目が持つ特別感が表現できた。木製フレームとしてJISの試験基準をクリアし、耐久性も確保されており実用面でも問題ない。部品の選択によって自分だけのこだわりを込めた、唯一無二の木の自転車となる独創性の高い作品。

優秀賞（林野庁長官賞）

●ソーシャルデザイン部門 3点



みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」
南会津町（福島県）
建築・空間分野

縦ログと重ね梁を用いた、木に関わる様々な活動や情報の拠点となる施設であり、木産地である同町のサプライチェーン構築に取り組んだロールモデルとして評価できる。空間は機能別にうまくまとまっており、フローリングや家具には樹種名の説明を設けるなど来訪者に対する木育機能も持っている。



バウマイスターの家
株式会社平成建設（静岡県） 網野禎昭（静岡県） 株式会社宮田構造設計事務所（東京都） 二宮木材株式会社（栃木県） 株式会社長谷川萬治商店（東京都）
建築・空間分野

大径木の利用に向けて、製材、建築、施主が連携して取り組むことで課題解決と地域の様々な価値創出につながった意欲的な作品である。大径木は大きなまま使うことで歩留まりを向上させ山側の利益につなげるとともに、仮に解体された後でも再利用できるなど、経済性、社会性とダイナミックな空間づくりを同時に満たしている。



**森への入り口をお届けします
～森デリバリー～**
株式会社東京チェーンソーズ（東京都）
コミュニケーション分野

未利用の幹や枝葉、根などを「森のかげら」と名付けて、それらを使った都市での出前ワークショップを提供するユニークで意義ある取組である。森と街をつなぐ活動であると同時に、異なる表情を持つ多様な木を余すことなく使い、普段木に親しむことの少ない人にも時間や自然に思いを巡らせて欲しいというメッセージが伝わってくる良質なプログラムである。

奨励賞（審査委員長賞）

●ライフスタイルデザイン部門 5点



笹島高架下オフィス
名古屋ステーション開発株式会社（愛知県） 有限会社マル・アーキテクチャ（東京都） 帝人株式会社（大阪府） シーエヌ建設株式会社（愛知県） 坂田涼太郎構造設計事務所（東京都）
建築・空間分野

高架下という制約のある空間に快適に働くことができ、集いなくなる木造オフィスの提案に取り組んだ社会提案性のある作品である。駅近という立地は、街に開く木造建築のシンボリックな存在にもなる。



Canadian Academy
株式会社竹中工務店（大阪府） 学校法人カネディアン・アカデミー（兵庫県） Karen Glandrup Architects（兵庫県） 株式会社小林木工（兵庫県）
建築・空間分野

アトリウムを象徴する木格子パネルはカフェラウンジやステージを明るくして、交流や活動を促す場づくりにつながった。意匠性を重視した木の使い方はインターナショナルスクールに日本らしさを表現することに成功している。



ひみり山杉からできたインク/つけペンセット
岸田木材株式会社（富山県） 株式会社竹田事務機（京都府） 株式会社田中直染料店（京都府） 株式会社岸田（富山県）
木製品分野

製材過程で生まれる杉皮を煮沸してインクを製造、木製ペンとのセットで販売したユニークな作品で、書き味もよい。書くという行為を通じ、暮らしの中でごく普通に木の付加価値利用をもたらしてくれる。



Wood Leather
サンプロ株式会社（京都府）
木製品分野

木材を使用したエシカル製品の開発に寄与する独創性の高い技術提案であり、その質感が驚くほど革に近い。皮革製品と比較した場合の木材由来の特性も雑貨や日用品での活用を幅を広げるだろう。



Grove
株式会社ワイス・ワイス（東京都） 株式会社マルホン（静岡県）
木製品分野

現代のオフィス・ニーズを反映した作品だが、襖をモチーフとした新たなデザイン、天竜杉の無垢材を活かした落ち着いた空間、軽量かつ組み立てやすさへの配慮など、細部にわたる気配りに好感が持てる。

奨励賞（審査委員長賞）

●ハートフルデザイン部門 5点



昭和学院小学校ウエスト館
株式会社 日建設計 | Nikken Wood Lab
(東京都) 学校法人昭和学院 (千葉県)
建築・空間分野

軒の高さを抑えつつ、国産杉CLTを構造と内装材として使いながら、交流を生む空間づくりに配慮した。生徒がその表情や質感を感じられる設計の工夫があり、ダイナミックかつ洗練された学びの空間を実現させている。



KITOKI
平和不動産株式会社 (東京都) 株式会社 A D X (福島県)
建築・空間分野

SRC造構造体に木造建築物を入れ子状に組み込んだ独自性ある作品である。実質的に低層木造建築と見なされるため、木造住宅のノウハウや特徴を活かしてフロアごとに様々な空間デザインを見せることに成功している。



TOKYOシェアオフィス墨田
株式会社 船場 (東京都) 凸版印刷株式会社 (東京都) 株式会社 SALT (福岡県) 株式会社森未来 (東京都)
建築・空間分野

築45年超の建物をリノベーションし、テーブル天板や個室ブース等に意図的に木材を多様し、ワークスペースの快適性や生産性向上と木材の関係性についての気づきをもたらす。未利用材を積極利用した内装や装飾も質が高い。



小郡幼稚園
無有建築工房 (大阪府) 学校法人片山学園 (山口県) 株式会社安成工務店 (山口県) 岡崎木材工業株式会社 (山口県)
建築・空間分野

小さな木の家が並ぶように構成された、周辺環境と融合した穏やかな建築が素晴らしい。地域の技術で建てられた園舎は、園庭の活用や農との接点を重視した活動などの取組とともに親和性がある。



紀三井寺ケーブル山麓駅
清水建設株式会社 (東京都) 紀三井寺 (和歌山県)
建築・空間分野

遠くからでも十分にインパクトがある外観は、意匠と地域の歴史や文化を現代につなげるデザインであり、ここを訪れる人々にとって、参拝と共に記憶に残るものになるだろう。

奨励賞（審査委員長賞）

●ソーシャルデザイン部門 5点



みんなで作るみんなの郵便局「丸山郵便局」
日本郵政株式会社一級建築士事務所 (東京都) 日本郵便株式会社 (東京都) 住友林業株式会社 (東京都) 南房総市教育委員会 (千葉県) 株式会社早川 (千葉県)
建築・空間分野

地域住民とともに参加型のプログラムを採用しながら、木造化を実現したアプローチは自分事化の好例である。郵便局という地域密着かつ店舗数の多い社会インフラがこうした取組を推進する意味は大きい。



星野神社 覆殿新築及び本殿改修・復元
株式会社 望月工務店/望月建築設計室 (愛知県)
建築・空間分野

伝統技術の継承と地域材利用による環境保全、伝統や文化を伝達の三位一体の取組として、百年単位での視野に感銘を受けた。学生や若手大工の育成にもつながる社会的にも重要な取組である。



木材の未来を拓くゲノム診断技術
住友林業株式会社 (茨城県) 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場 (北海道) 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場 (北海道)
調査・研究分野

効率的かつ市場の需要に応える木材の供給と利用に貢献する先進的な技術開発である。本作品の研究対象はカラマツだが、多様な木材調達を選択肢が増えることで、多様な木造・木質化の設計や開発の幅が広がっていく。

奨励賞（審査委員長賞）

●ソーシャルデザイン部門（続き）



人を育てる緑を育てる『フォレストサポーター鉛筆』
三菱鉛筆株式会社（東京都）品川区教育委員会
（東京都）日本郵便株式会社東京支社（東京都）
株式会社サカタのタネ（神奈川県）
木製品分野

本体の途中までしか芯が入っていないため、書けなくなった時に自然に子どもが資源循環やリサイクルを考えるきっかけになる、コミュニケーションツールとしての文具である。国産材利用の意義とSDGsの意味を学ぶファーストステップとしてよい。



森をつくる太鼓
株式会社 宮本卯之助商店（東京都）
木製品分野

和太鼓は一般的に太い木をくり抜いてつくられるが、あえて桁目の間伐材を使用することにより、利用者の意識を森林保全や環境対応に向けている。音楽や芸能の分野と木材利用をつなげようという姿勢に好感が持てる。

JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2022

「ウッドデザイン賞2022」記念シンポジウム パネル展示・交流会

最優秀賞／農林水産大臣賞「MOKUWELL HOUSE」



最優秀賞／経済産業大臣賞 ワーカーのウェルビーイングな働き方をサポートするビッグテーブル「シルタ」



最優秀賞／国土交通大臣賞「HULIC & NEW GINZA8」



最優秀賞／環境大臣賞「SANU 2nd Home」



- 本年度から「ウッドデザイン賞」は、木の活用による社会課題の複合的な解決をもたらし、イノベーション・新産業創出に寄与する作品を、最優秀賞「農林水産大臣賞／経済産業大臣賞／国土交通大臣賞／環境大臣賞」として表彰するなどリニューアルしました。
- 本年は「最優秀賞」の受賞者プレゼンテーションや審査委員とのディスカッションを行う「記念シンポジウム」、「ウッドデザイン賞2022」受賞者等の「パネル展示」及び来場者とのマッチングを行う「交流会」も、新たに開催します。

開催概要

- 【日 程】2022年12月7日(水)
 【シンポジウム】14:00～17:00
 【パネル展示・交流会】13:30～17:45
- 【場 所】「東京ビッグサイト」会議室 605-608
 (会議棟6階)
- 【定 員】300名
- 【参加費】無料
- 【申 込】以下のフォームからお申込み下さい。
<https://forms.gle/JyQ1MMCZbLT1UKd88>
- 【締 切】2022年11月30日(水)
 ※定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。
- 【問合せ】(一社)日本ウッドデザイン協会(担当:小田)
 E-mail: oda_minoru@jwda.or.jp
 ※テレワークのため、E-mailでお問合せ下さい

※ 最新情報は、(一社)日本ウッドデザイン協会の公式サイト
 をご覧下さい (<https://www.jwda.or.jp>)

記念シンポジウムプログラム

【セッションⅠ】

「都市を森林(もり)に～企業価値を高めるウッドデザイン～」

- (1) 受賞者プレゼンテーション(国土交通大臣賞・経済産業大臣賞)
- ① 「HULIC & NEW GINZA8」(株)竹中工務店
 - ② 「ワーカーのウェルビーイングな働き方をサポートするビッグテーブル「シルタ」」(株)イトーキ
- (2) ディスカッション
 〈進行〉赤池 学(審査委員長)
 〈登壇〉鈴木恵千代・伊香賀俊治(審査委員)、上記受賞者
 〈コメンテーター〉林野庁

【セッションⅡ】

「ウッドデザインが拓く、地域発の新たなバリューチェーン」

- (3) 受賞作品プレゼンテーション(農林水産大臣賞・環境大臣賞)
- ③ 「MOKUWELL HOUSE」(MEC Industry(株))
 - ④ 「SANU 2nd Home」(株)Sanu
- (4) ディスカッション
 〈進行〉赤池 学(審査委員長)
 〈登壇〉原田 真宏・益田 文和・戸村 亜紀(審査委員)、
 上記受賞者
 〈コメンテーター〉林野庁

プログラム

※諸事情により登壇者等が変更になる場合があります

13:30～ 開場、参加者受付
(司会) 成田 愛純 (2022ミス日本みどりの女神)

◆セッション1：都市を森林(もり)に～企業価値を高めるウッドデザイン～

14:00～ 開会挨拶 (一社)日本ウッドデザイン協会、林野庁

14:05～ 最優秀賞「国土交通大臣賞」受賞作品プレゼンテーション

「HULIC & NEW GINZA8」(株)竹中工務店 代表者

14:20～ 最優秀賞「経済産業大臣賞」受賞作品プレゼンテーション

「ワーカーのウェルビーイングな働き方をサポートするビッグテーブル「シルタ」」 (株)イトーキ 代表者

14:35～ ディスカッション

「都市を森林(もり)に～企業価値を高めるウッドデザイン～」

〈進行〉赤池 学 (ウッドデザイン賞審査委員長)

〈登壇〉鈴木 恵千代 (空間デザイナー、ウッドデザイン賞審査委員)、伊香賀 俊治 (慶應義塾大学 教授、ウッドデザイン賞審査委員)、(株)竹中工務店 代表者、(株)イトーキ 代表者

〈コメンテーター〉林野庁

15:15 閉会

15:15～ 【パネル展示・交流会①】

15:30～ 【日本ウッドデザイン協会 プレゼンテーション】 (一社)日本ウッドデザイン協会

◆セッション2：ウッドデザインが拓く、地域発の新たなバリューチェーン

15:45～ 開会

15:50～ 最優秀賞「農林水産大臣賞」受賞作品プレゼンテーション

「MOKUWELL HOUSE」MEC Industry(株) 代表者

16:05～ 最優秀賞「環境大臣賞」受賞作品プレゼンテーション

「SANU 2nd Home」(株)Sanu 代表者

16:20～ ディスカッション

「ウッドデザインが拓く、地域発の新たなバリューチェーン」

〈進行〉赤池 学 (ウッドデザイン賞審査委員長)

〈登壇〉原田 真宏 (建築家、ウッドデザイン賞審査委員)、益田文和 (プロダクトデザイナー、ウッドデザイン賞審査委員)
戸村亜紀 (クリエイティブディレクター、ウッドデザイン賞審査委員)、MEC Industry(株) 代表者、(株)Sanu 代表者

〈コメンテーター〉林野庁

17:00 閉会挨拶 (一社)日本ウッドデザイン協会

17:00～ 【パネル展示・交流会②】

17:45 閉会

登壇者



【セッションⅠ】

【セッションⅡ】

〈進行〉

赤池 学 (あかいけ・まなぶ)

審査委員長

プロジェクトデザイナー、科学技術ジャーナリスト、

(株)ユニバーサルデザイン総合研究所 所長



【セッションⅠ】

〈登壇〉

鈴木 恵千代 (すずき・しげちよ)

建築・空間分野 審査委員

空間デザイナー、日本空間デザイン協会会長



【セッションⅠ】

〈登壇〉

伊香賀 俊治 (いかが・としはる)

技術・建材分野、調査・研究分野 審査委員

慶應義塾大学理工学部教授



【セッションⅡ】

〈登壇〉

原田 真宏 (はらだ・まさひろ)

建築・空間分野 審査委員

建築家、マウントフジアーキテクトスタジオ 主宰



【セッションⅡ】

〈登壇〉

益田 文和 (ますだ・ふみかず)

木製品分野 審査委員

プロダクトデザイナー、(株)オープンハウス 代表



【セッションⅡ】

〈登壇〉

戸村 亜紀 (とむら・あき)

コミュニケーション分野 審査委員

クリエイティブディレクター

- 本年度188点の受賞作品の「作品展示」「表彰式」は、今年もSDGs Week EXPO2022「エコプロ2022」内で開催します。
- 「エコプロ2022」展示ブース(「5-912森と木で拓くSDGsゾーン」F-01「ウッドデザイン賞2022」)では、アンケートにご協力いただいた方にプレゼントをご用意しております。



一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

東京都港区新橋3-5-2 新橋OWKビル6階

<https://www.jwda.or.jp/>